

# 急性期リハビリテーション

医師の指示のもとに整形外科疾患（骨折・関節症など）、脳血管疾患（脳梗塞など）、呼吸器疾患（肺炎など）の患者さんを対象にリハビリを施行しています。

急性期病棟では発症または手術翌日から患者さんの血圧・脈・痛みなど、体調に応じて病室でリハビリを開始します。

また、食べ物がうまく飲み込めなくなった患者さんのリハビリや、嚥下造影検査（VF検査）の実施も早期から開始します。言葉がうまく話せなくなった患者さんに対する言語療法も行っています。



下肢機能練習  
(関節可動域の向上・筋力増強)



起き上がり、腰かける練習



車いすに移る練習



歩行練習





嚥下造影検査をしている場面



口腔ケアや嚥下の練習